

第5章 「子ども・子育て支援給付」実施状況の点検・評価等

1 教育・保育の提供区域

【事業・計画概要】

「量の見込み」等の設定単位は、保護者や子どもが居宅より容易に移動することが可能な区域（教育・保育提供区域）を設定することが定められています。

村では、「さくら小学校区（北山地区・大塩地区）」と「裏磐梯小学校区（桧原地区・裏磐梯地区）」の2つを「教育・保育提供区域」に設定しています。

令和6年度の実施状況
「さくら小学校区」と「裏磐梯小学校区」の2つを教育・保育提供区域に設定。各提供区域において教育・保育の提供を実施。
実施状況評価
適正な「教育・保育提供区域」を設定し、教育・保育を提供している。
今後の取組・改善事項等
今後も適正な「教育・保育提供区域」設定し、各地区において教育・保育等の子育て支援の提供に努める。

2 教育・保育施設等の設置状況 及び 教育・保育の「量の見込み」とその確保について

【事業・計画概要】

未就学児の教育・保育について、将来の利用希望を把握し、計画期間内に必要な施設や事業を確保する必要があります。

計画策定時の教育・保育のニーズ調査及びこれまでの利用実績を踏まえて「量の見込み」を設定し、その確保に努めます。

令和6年度の実施状況

○教育・保育施設等の設置状況

(さくら小学校区)

- ・幼稚園・・・1ヶ所 [定員：60人] (園児の預かり保育実施)
- ・保育所・・・1ヶ所 [定員：30人] (0歳児から3歳児まで利用可能)

(裏磐梯小学校区)

- ・幼稚園・・・1ヶ所 [定員：60人] (園児の預かり保育実施)

○教育・保育の「量の見込み」と「実績値」(1号・2号・3号認定)

◇1号認定(教育のみ) [4月1日時点の人数]

全体 (人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み ① (ニーズ量)	8	8	8	8	7
実績値 ②		12	14	9	5	4
比較 (②÷①) (%)		150%	175%	112%	63%	57%

さくら小学校区 (人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み ① (ニーズ量)	5	7	7	7	6
実績値 ②		8	7	5	1	3
比較 (②÷①) (%)		160%	100%	71%	14%	50%

裏磐梯小学校区 (人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み ① (ニーズ量)	3	1	1	1	1
実績値 ②		4	7	4	4	1
比較 (②÷①) (%)		133%	700%	400%	400%	100%

◇ 2号認定（保育の必要性あり（新2号認定を含む））[4月1日時点の人数]

全体

(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み ① (ニーズ量)	43	55	52	52	47
	実績値 ②	32	33	25	29	28
	比較 (②÷①) (%)	74%	60%	48%	56%	59%

さくら小学校区

(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み ① (ニーズ量)	35	44	41	41	38
	実績値 ②	23	27	19	25	19
	比較 (②÷①) (%)	65%	61%	46%	61%	50%

裏磐梯小学校区

(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み ① (ニーズ量)	8	11	11	11	9
	実績値 ②	9	6	6	4	9
	比較 (②÷①) (%)	112%	54%	54%	36%	100%

◇3号認定（保育の必要性あり）[4月1日時点の人数]

全体

(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み① (ニーズ量)	38	29	29	29	29
	実績値②	21	19	22	10	9
	比較(②÷①) (%)	55%	65%	75%	34%	31%

さくら小学校区

(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み① (ニーズ量)	25	23	23	23	23
	実績値②	20	17	19	9	9
	比較(②÷①) (%)	80%	73%	82%	39%	39%

裏磐梯小学校区

(人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画数値	量の見込み① (ニーズ量)	13	6	6	6	6
	実績値②	1	2	3	1	0
	比較(②÷①) (%)	7%	33%	50%	17%	0%

実施状況評価

評価：A

教育・保育給付認定及び施設等利用給付認定（預かり保育認定）の子ども・・・待機児童なし定員に対する在籍園児は年々減少傾向にあるが、村内の教育・保育施設の入所を申請した方（1号・2号・3号認定）全員が希望施設に入所している。

今後の取組・改善事項等

少子化の影響も受け入園児が減少傾向にあるが、預かり保育無償化などの子育て支援策を充実させながら入園児を確保し、今後も待機児童なく村内の教育・保育施設において、教育・保育を提供できるよう提供体制の確保に努める。

3 教育・保育施設等の推進

【事業・計画概要】

村は「さくら小学校区」と「裏磐梯小学校区」の2つを教育・保育提供区域としていますが、現在、保育所（0歳児～2歳児が利用できる施設）は「さくら小学校区」に1ヶ所となっています。保育施設の需要を判断しながら、「裏磐梯小学校区」への整備を検討していきます。

また、提供する教育・保育の質の向上に向けて「保育士や教諭の研修の充実」、「処遇改善を始めとする労働環境への配慮」、「教育・保育施設への適切な指導監督、評価等の実施」及び「自己評価、関係者評価、第三者評価を通じた運営改善」などの取り組みを推進します。

令和6年度の実施状況

○裏磐梯小学校区への施設整備検討

- 令和2年度「桧原・裏磐梯地区乳幼児保育環境整備検討委員会」を設置。

子育て世帯に対するアンケート調査及び委員会会議（3回）を経て、委員会より村にその検討結果を報告。その報告書を精査し、環境の実現に向けた施策の検討を進め、令和3年度に基本構想を策定し、令和4年度に基本設計を行った。

- 現在、村の施策調整の検討を踏まえ、本事業は休止している。

○教育・保育の質の向上に受けた取組

保育所等に対し、様々な事業者が行う教育・保育の質の向上に向けての研修等の案内を行った。

保育所については、保育士等の処遇改善のため、施設型給付費等に係る処遇改善等加算（処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ）及び保育士等保育士等処遇改善臨時特例事業を行った。また、保健福祉事務所が行う保育所監査を通して、施設の運営状況等の確認を行った。

実施状況評価

○裏磐梯小学校区への施設整備検討

評価：C

裏磐梯小学校区における乳幼児保育環境整備は現在休止。

○教育・保育の質の向上に受けた取組

評価：A

研修案内・各施策等の情報共有及び処遇改善事業等の実施が、施設の教育・保育の質の向上に繋がっている。

今後の取組・改善事項等

- 裏磐梯小学校区の乳幼児保育環境整備は現在休止。
- 各既存の施設の教育・保育の質の向上に向け、継続して検討していく。
- 必要なサービスが提供できるよう、体制を整えていく。